
さて、『すきです』は本心なのかしら？

雨猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

さて、『すきです』は本心なのかしら？

【Nコード】

N1350N

【作者名】

雨猫

【あらすじ】

夕暮れの帰り道、とつぜん知らない男の子に声をかけられ……

短いのであんまりあらすじとかないです（笑）

（前書き）

楽しんで頂けたなら幸いです。

「結婚してください!!」

「え、は…ええ!？」

夕暮れの帰り道での話。私はいつも通り、公園の横の歩道をゆっくりと歩いていた。

そこで、急に前方の十字路から出てきた近くの中学生のグループから、一人の男子生徒が走り寄ってきて冒頭の一言を放った。

「え、そんなこと急に言われても…」

「ですよー!!」ではお返事はこちらにどうぞ、お待ちしています
!!」

戸惑いながら否定でも肯定でもない言葉を返すと、少年は早口で一気にそういつて小さく折り畳まれたルーブリーフを手渡してきた。それを怪しく思いながらも受け取った私。

少年は「それでは!!」なんて叫んで、とっくに先を行ってしまつた集団に「てめーら待てよ!!」なんて怒鳴り付けながら走り去って行った。

「……」

取り残された私は、目をぱくりさせながら手中に残ったメモを開ける。

開けた時、メモに綴られた言葉を見て私は固まった。

『すみません、全部嘘です!!』

きもかったですね!!

でも嘘ですから。

すみませんでした』

「う……っぜええ!!」

あまりにも過ぎた悪戯に、小声で悪態をつく。

ぐしゃぐしゃに丸めて捨ててやろうとしたそのメモの一節が目に入る。

私は丸めようとした紙をもう一度広げてその文字を見て、ふと笑ってしまった。

やっぱり嘘かもしれない。悪戯の延長なのかもしれない。でもわざわざ縦読みにしたその意図はなんなのだろう。

今度、あの中学の校門であの少年を待ち伏せしてやろう。で、質問するんだ。

『この一番左の文字を縦読みしたら見えてくる文章に意味はあるん

ですか？』

と。

「ちて、『すきです』は本心なのかしら？」

（後書き）

縦読みつていいですね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1350n/>

さて、『すきです』は本心なのかしら？

2010年10月10日21時46分発行